

会報

★ 広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
P T A 連 合 会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

NO. 174



就任御挨拶

広島県高等学校PTA連合会

会長 岡崎 光治

会員皆様の御理解と御協力のもと、

人数制限を設け、来賓の方へ参加のお声掛けを断念し、表彰式も取りやめる等、内容の変更や省略することで大幅に時間を短縮し、万全な新型コロナウイルス感染症対策で臨んだ総会は、実に三年振りの開催となりました。

その令和四年度広島県高等学校PTA連合会定例総会において会員の皆様の御了承を頂き、今年度二期目の広島県高等学校PTA連合会会長を拝命いたしました岡崎です。

若輩者ですが一つでも皆様のお役に立てるよう努力する所存です。

今まで以上の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さてコロナ禍騒動も三年目に入り感染者数は減らないものの世の中は経済活動も含め一歩ずつ前に進み始めました。

それに伴い今まで余儀なく延期や中止にしていたPTA活動も感染対策を行うことで形を変えつつも開催出来る

ようになってきました。

前述の総会をはじめ、単P会長研修会は研修のみではありませんでしたが、各校のPTA会長や校長先生に御参加いただき、十分な広さを確保して行いました。

七月二十六日松山で行われた第六十四回中国・四国地区高等学校PTA連合大会愛媛大会はオンラインとリアルタイムのハイブリット形式で行われ、一昨年は順延し昨年はやむを得ずオンラインのみのリモート開催になった島根の全国大会は、第七十一回全国高等学校PTA連合会大会石川大会でハイブリット形式として八月二十五日・二十六日に開催されました。

共に酒瓶を両手に持ち各テーブルを回って美酒を酌み交わし、閉会時には輪になり肩を組んで「高校三年生」を大合唱する派手な情報交換会は自粛し、お食事会と称して例年よりかなり少ない人数でも広島県高P連会員が一堂に会して懇親を深められたのは参加され

た皆さんに大変喜んでいただけました。ほかに三年振りとなる進学説明会は、八月十一日に人数制限を設け、広島県民文化センター多目的ホールで開催しましたが、盆休みの連休中にもかかわらず、昨今の大学入試の編成もあり多くの保護者の方が参加され、やむを得ず参加できなかった方への資料を一緒に持ち帰られる方も多く、用意した大学案内が足らなくなるのではと心配するほどでした。

また各地区の会議や、各地区から参加される委員会も集まることが出来なくてもLINEやZOOMを使ったオンライン会議で、メンバー相互の意見交換が出来る環境整備を素早く行っておられ、それに負けじと広島県高P連事務局もいかなる場所でもオンライン会議に参加できるようノート型パソコンを導入し、ZOOMを使つてのオンライン会議やブレイクアウトルームを使つてグループ分けでの意見交換会を行う準備などを進めています。

また広島県高P連七十周年を記念し、記念誌の作成と現在使用している事務局手作りのホームページをリフレッシュし、会員の皆様へ分かり易い案内と最新の情報を発信できるよう熟考中です。

散々私たちの活動を制限してきた新型コロナウイルスは弱毒化し感染力を強めていますが、御年配の方や既往症

のある方には変わらず恐ろしい病です。しかし終息を待つだけでは失うものが大き過ぎると思います。

我々保護者は子供たちに「やれば出来る」とか「夢は叶う」など安易な激励を口にしても、案外自分自身の行動は、石橋を叩いてもなお渡ろうとしないのかもしれない。

我々の目的は生徒のためにより良い環境を整える事であり、活動は会費を捻出し施設や設備を用意したり、不用品や遊休品を販売するだけではありません。

大会や委員会に参加する事で研修を受けることが出来ます。

また活動を通じて同じ学校だけではなく他校の保護者の方とも知り合え、地域や県を超えた情報交換ができます。更にPTA活動の思い出を一生語り合える友達もできるとも素敵な団体です。

自ら立候補して役員になった方も、ジャンケンやくじ引きで引き当てた役員の方も、持ち回りでたまたま役員になられた方も、是非参加して一歩前に出てPTA活動にチャレンジしてみてください。

私たちのその一歩が生徒や子供たちの幸せに繋がる一歩になると信じています。

令和四年度 定例総会 とき 六月九日(木) ところ 広島県民文化センター

令和元年度の定例総会を最後に、新型コロナウイルス感染症のため書面決議による総会を行ってきましたが、国や県の方針も踏まえて、三年振りに、会場に集合しての総会を行いました。

本来ですと、被表彰者、御来賓の出席をいただく予定でしたが、出席いただける人数を制限し、各校二名の議事評決代表者の出席とし、表彰式の割愛(当日表彰者一覧を配布、感謝状等は後日各校へ送付)、御来賓の御臨席もいたただかず、簡素な総会となりました。例年行っておりました総会後の歓送迎会兼情報交換会も中止いたしました。それでも、三年振りに、一堂に会して開催できたことは、一歩前進となったのではないかと思います。

当日は、加盟校から、百十二名もの皆様に御出席いただきました。

司会は、慣例により、前年度県高P連総務委員長に行っていた、たいていします。

本年度は、広島県立広島井口高等学校



柿原誠一郎PTA会長に行っていた、できました。

開会のことばを原邦視副会長が行い、国歌は歌わず、心の中で御斉唱いただくようお願いしました。引き続き、岡崎光治県高P連会長が御挨拶いたしました。

表彰式、御来賓挨拶ありませんでした



ので、すぐに定例総会にうつりました。

土谷流廣事務局長の定足数報告の後、議長に山本祐二副会長を選出し、議事録署名名人に、広島県立福山商業高等学校高橋佳裕PTA会長、広島県立東城高等学校西田真康PTA会長を選任しました。



令和三年度会務・事業報告を藤原みどり副会長が行い、提案

案どおり承認されました。



会計決算報告は、土谷流廣会計が県高P連の五会計の決算報告、県高P連PTA教育振興事業特別会計の経緯の説明を行い、監査報告を、監査委員の広島県立福山誠之館高等学校三原大悟前PTA会長が報告し、承認されました。

次に役員選出に移り、令和四年度県高P連会長には引き続き、岡崎光治会長が選任されました。県高P連副会長五名には、広島市立広島中等教育学校山本祐二前PTA会長、広島県立広島皆実高等学校藤原みどり前PTA会長、新たに、広島県公立高等学校長協会から広島県立呉三津田高等学校山田哲也

校長、広島県立西条農業高等学校古田健治PTA会長、広島県立神辺旭高等学校高尾邦裕PTA会長が選任されました。また、あらかじめ各地区連合会から選出された県高P連幹事、監査、常任委員については、提案どおり承認されました。

旧役員を代表して、
退任された原邦視
前副会長の挨拶並びに、新役員を代表して岡崎光治会長が挨拶を行いました。



令和四年度事業方針（案）事業計画（案）について岡崎光治会長から提案を行いました。自転車通学ヘルメット着用についての御意見などをいただきましたが、承認されました。続いて予算（案）を提案し、予算（案）は無事承認されました。

議事終了後、閉会のことばを古田健治副会長が行い、総会を閉会いたしました。

前述のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大のため、総会後に行っておりました、新旧役員・会員の歓送迎会をかねた情報交換会は中止いたしました。来年の定例総会、情報交換会は、多くの会員の御参加のもと開催できることを願いつつ終了致しました。

（県高P連事務局）



令和四年度 第一回 常任委員会

とき 令和四年六月二十三日（木）
ところ 広島YMCA二号館 四階 大会議室

令和四年度第一回常任委員会が、コロナ禍にもかかわらず、多数の委員様の御出席をいただき、開催することができました。

司会は、高尾邦裕副会長が担当し、岡崎光治会長の挨拶のあと、御来賓として出席された、広島県教育委員会事務局学びの変革推進部生涯学習課課長桑原智津子氏、広島県公立高等学校長協会山田哲也副会長から御挨拶を頂きました。次に、土谷流廣事務局長から、

定足数の報告を行い、常任委員会成立を報告致しました。議長には古田健治副会長を選出し、議事録署名人に広島県立広島観音高等学校美園友紀PTA会長、広島県立賀茂高等学校加藤薫PTA会長を選出しました。議事にうつり、顧問・参与の委嘱について、人事案を提案、原案どおり承認されました。次に、その他として、土谷流廣事務局長より、

- ① 第六十四回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会愛媛大会（七月二十六日 愛媛県民文化会館）
- ② 第七十一回全国高等学校PTA連合会大会石川大会（八月二十五日、二十六日いわかわ総合スポーツセンターほか）

の二大会について説明があり、参加がそれぞれ少ないので、締め切りを過ぎているがまだ受け付けるとのこと、感染対策に注意を払ったの参加型大会なので、安心して、是非多くの御参加をお願いしたいとの報告がありました。議事終了後、各委員会に分かれて委員会協議を行いました。各委員会では委員長、副委員長の互選並びに本年度事業計画について協議いただきました。その後全体会で各委員会委員長より委員長・副委員長の発表、一年間の委員会活動について報告され、すべての議事が滞りなく終了致しました。

各委員会の委員長・副委員長は次のとおりです。
（県高P連事務局）

令和四年度 県高P連各委員会 委員長・副委員長一覧

総務委員会	(委員長)	広島県立 祇園北高等学校	PTA会長	藤島慶吾
	(副委員長)	広島市立 広島工業高等学校	PTA会長	井上志保
研修委員会	(委員長)	広島市立 基町高等学校	PTA会長	福本博之
	(副委員長)	広島県立 高陽高等学校	PTA会長	長尾梢
調査広報委員会	(委員長)	広島県立 福山明王台高等学校	PTA会長	村上陽介
	(副委員長)	広島県立 世羅高等学校	PTA会長	永田宏之
健全育成委員会	(委員長)	広島県立 賀茂高等学校	PTA会長	加藤薫
	(副委員長)	広島県立 府中高等学校	PTA会長	岡本恵美
進路対策委員会	(委員長)	広島県立 大柿高等学校	PTA会長	橋本勇二
	(副委員長)	広島県立 広島皆実高等学校	PTA会長	今岡賢哉

第六十四回 中国・四国地区高等学校 PTA連合会大会 愛媛大会

とき 令和四年七月二十六日(火)
ところ 愛媛県民文化会館

令和四年七月二十六日に、『笑媛(えひめ)から始まる絆づくり』く無限の可能性を秘めた子どもと共にくをテーマに、第六十四回中国・四国地区PTA連合会大会が松山市の愛媛県民文化会館にて開催されました。

全国的にも新型コロナウイルスの感染状況が悪化する中、大会実施に至るまでたくさんの不安や御苦労があったことと思います。



また、当日の大会に参加できない方々のためにも、無料で大会の様相をライブ配信・後日視聴できましたので、

三年ぶりの開催に実行委員会の皆様には厚く御礼申し上げます。



開会式が始まり、中国・四国地区高等学校PTA連合会長 飛地明國会長、一般社団法人全国高等学校PTA連合会 山田博章会長から御挨拶いただきました。

講演会が始まり、株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長、日本サッカー協会副会長岡田武史氏を迎え、『今治からの挑戦』を演題に御講話いただきました。



現在、今治でサッカーチーム運営会社を立ち上げ、複合型スタジアム建設を目標に活動。地元企業からのバックアップもあり、二〇二三年開業予定。『次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する。』をモットーに、岡田さんの人柄や行動力に魅了された皆さんの心を豊かにしていると感じました。

私自身、生き生きと楽しそうに講演される岡田さんを見てとても魅力的な方だと感じました。



次に始まったのが、高校生による発表『愛媛県内の高校魅力化の取り組み』です。午前と午後に分かれて七校の生徒たちが発表してくれました。ある高校では、廃校の危機を乗り越え全生徒も少ない中、FM愛媛の学校CMコ

ンテスト、二〇二二愛媛広告賞ラジオ部門において最優秀賞を獲得。

また別の学校では、世界初の高校生が作る水族館(総工費二十四億円、二〇二五年完成予定)を計画。西日本豪雨による影響を受け、学校に登校出来なくなった時も教師達のバックアップで危機を乗り越え、さらに新しい挑戦をしていく。県外からの入学生の体験談では、親元を離れ自立しながら頑張っていて、とても胸が熱くなりました。どの高校も、この日のために皆んなで準備をして魅力あふれる発表をしていました。愛媛県ならではの、愛媛県だからこそ出来るそんな取り組みを各校が工夫している様子が何え、素晴らしい時間でした。



午後からの部は、愛媛県立松山中央高等学校 吹奏楽部による演奏で始まりました。

一九八七年に創設された愛媛県内では最も新しい県立高校で、吹奏楽部は

創部三六年。昨年度は五回目の全日本吹奏楽コンクールに出場。当日は六曲を演奏、圧巻のパフォーマンスに元気がいっぱいな部員たちを見て、大変感動しました。

P T A 研究協議においては、山口県、香川県、愛媛県から選ばれた高校の代表者がそれぞれのテーマに沿って発表を行いました。山口県立山口中央高等学校の発表では、学校運営協議会との協力やあいさつ運動、高校生熟議二〇二一の名称でこれまで話し合われる機会がほとんどなかった校則について、P T A と生徒会共同主催で熟議を行いました。香川県立農業経営高等学校の発表では、毎年十一月中旬の土・日曜日の二日間実施されるバザー『主基農経祭』についてや、乗馬体験研修といった P T A 研修の取り組みについての発表がありました。愛媛県立新居浜東高等学校の発表では、P T A バザーの企画運営などの活動紹介や、スポーツ拠点校として地域と連携したトレーニング指導、酸素カプセルの導入など選手健康管理についての発表がありました。

ースや、高校生の作ったおもてなしブースなど細部にこだわりがあり、どこを見ても愛媛県が詰まった素敵な大会でした。ありがとうございます。
(県高P連調査広報委員 末政 愛)

**令和四年度 第一回
単P会長研修会**
とき 令和四年七月三十日(土)
ところ 広島YMCA国際ホール
ほか

令和四年度第一回単P会長研修会が、七月三十日(土)十三時から広島YMCA国際文化ホール他において開催されました。広島県内校のP T A 会長等約九十名近くが一同に会して行われました。会場準備の段階から、新型コロナウイルス感染症対策についても工夫下さり、個々の対策にも御協力を得て開催することができました。

開会行事では、開会の言葉に続き、出席者全員により会場内に流れる国歌に合わせて心の中で唱和し、その後広島県高等学校P T A 連合会岡崎会長の挨拶で、さまざまな研修会が開催されるが、単P会長研修会は特別楽しみな研修会であり、こうやって皆さんと顔を合わせて開催できたことをうれしく思うと会長の挨拶がありました。



また来賓としてお越しく下さいました広島県教育委員会事務局まなびの变革推進部生涯学習課長兼乳幼児教育支援センター長の桑原智津子様、広島県公立高等学校長協会山田哲也副会長様から御挨拶を賜りました。

続いて研修行事に入りました。「広島県教育の現状と課題」と題して広島県教育委員会教育長平川理恵様をお招きし御講話頂きました。平川教育長は、公募により女性初の公立中学校民間人校長として八年間学校現場でも御活躍され、その後二〇一八年より広島県教育長に就任されました。湯崎知事から

最初に言われたれたミッションは、広島県教育委員会及び県内学校の組織風土を変えてほしい。なんでも言いたいことが言える風土を作ってほしいというものであり、この思いを受け、現在五年目に入られた教育長というお立場、家庭では母親という、私たちと同じ立場で、日々邁進されておられます。



平川教育長が常に心掛けておられること、それは「子ども主体」生徒の立場に立つて考え、生徒が嫌なことはしない。自分の子どもがそんなことをされたらどう思うかを、常に念頭に置き、職員と話を決めていく過程を大切にしているということでした。学校現場に足を運び、実際の生徒の様子や雰囲気を感じ、教職員と対

話をすることを主眼に置き、日々県内各学校を巡回されている様子を感じました。

どんな組織もトップが何を考え、何を目指しているのかを伝えることは組織の心をひとつにするために重要であるため、手書きで「平川通信」と題して毎月通信を発行し、教育委員会の各所のトイレや執務室に張り出されているとのこと。スタッフすべてが県内の子ども達のための仕事なのだとの原点に帰することを大切に思われていました。

学校現場で取り組まれていることの一つに、学校図書館改革として図書館リニューアルの推進でした。図書館は無料で情報リサーチできる「知の探究」の大切な場所として捉えておられました。県教委で学びの変革の寄附金を活用

して図書館改革を進めておられました。そして令和四年度広島県教育委員会の八策についても一つひとつ説明がありました。根源的な問い「生きるって何？」を主軸とした探究学習をすべての学校で汎用させキャリア教育と結びつけ実践していく。また、幼児児童生徒一人ひとりの自己肯定感を大切にするため、個別最適な学びや本物の体験を重要視し、不登校対策、セーフティネ



ットを確保する。というものでした。

平川教育長の講話から、広島県の教育を変えていくんだという強い信念と、教育委員会という行政組織の中ではあるが、地域や学校の事情に合わせて、子ども主体で色々な形の学校に変えていく、変わっていくことが大切という思いを分かり易くお話し下さいました。

大人の事情ではなく、子ども達の未来のために、果敢にそして真つ直ぐに挑戦されているお姿に大変感銘を受けました。常にプラス思考の発想で、これまでに「無理」と片付けられてきた事柄も、答えを一つにせず何通りもの方法を考えていくことで前に一歩でも二歩でも進む大切さを伝えてくださいました。子育て、PTA活動のみならず社会生活においても大切にしていきたい視点であると感じました。

続いて研修行事二として、広島県高等学校PTA連合会組織等説明を、組織図の資料を基に岡崎会長より説明がございました。八月二十五日〜二日間開催される第七十一回全国高等学校P

TA連合会大会石川大会へ広島県高等学校PTA連合会からも多数の参加をお願いしたいとありました。

そして研修行事三として、広島県環境県民局消費生活課消費政策グループの河野晃裕主査様より「若者の消費者トラブル啓発」について説明をいただきました。成人年齢引き下げにより、十八歳（成人）になると親の同意を得なくても自分の意思で様々な契約ができるようになり、未成年者取消しもできなくなったこと。今後、

高校生を含む成人なりたての若者が消費者トラブルに巻き込まれる懸念が高まっているため、県が無料で行っている消費者トラブル啓発講座



講師派遣事業を活用いただきたいという紹介でした。その後休憩・移動をはさみ、六つの会場へ分かれて分散会が行われました。

県高P連副会長や研修委員会を中心に分散会の司会や記録を担っていただきました。

分散会の内容は、分散会ごとにテーマは違いましたが、私が参加した第四分散会では、コロナ禍での学校行事や

生徒の活動の様子について現状を報告し合いました。

またPTA活動の工夫やちよつとした悩みなども共有することができ大変有意義な会となりました。

一時間二十分の分散会の時間は、時間を忘れて熱心にそして楽しく意見交換ができ今後の活動の大きな糧となりました。

分散会終了後、再度ホールへ集合し、閉会行事を行い、令和四年度第一回単P会長研修会を終了いたしました。

県内の会長さんや役員の方々と交流し、良い刺激をたくさん受け、思いもしない気づきや考え方も聞くことができ深く学ぶことが出来ました。これもPTA活動に関わっていたればこそその生涯学習の場であると私自身感じております。

今回の研修会に御多用の中御参加くださった皆様から感謝申し上げます。

この度の研修会は、コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、研修会終了後に行う予定だった情報交換会は中止となりましたが、次回の開催を楽しみにしております。ありがとうございました。

(県高P連調査広報委員 栗栖香織)

令和四年度

会員功勞表彰被表彰者一覽

(順序不同)

【県教育長感謝状】

県高P連高江一成

市立基町脇谷孔一

安芸南二宮仁

湯来南白井弘子

大市立呉栞本真吾

呉市立呉清原秀樹

世道特支釜田香織

尾道特支釜田香織

三次(定)中村和典

元呉商業高江一成

広島皆実古谷英教

広島国泰寺安部友乃

所川美加

小泉洋子

水野佳子

石津百絵

北林鉄也

渡邊このみ

村田貴信

下村光加

天野真哉

藤田真由美

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

中津英吾

山田友香

寶井帝

西英昭

西愛

有田京子

山本裕也

大本球王

吉儀多加志

酒井真美江

坂本順子

小原洋子

沼田幸夫

戸成伸一

北皇衣

釜田香織

三原大悟

高田ひろみ

山本千景

根師雅典

佐藤政代

塚本幸志

割靴みづえ

神原直子

佐道陽子

岡原文晃

高田由美子

河本暁子

佐藤圭介

桐島圭介

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

市立基町脇谷孔一

以上
百六十一名

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引25%適用 (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません)
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料で各種医療に関してご相談いただけます。
※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和4年4月25日午後4時より令和5年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。
※令和4年度よりスマホ・PCから簡単に加入申込みができます。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故 無制限	1事故 無制限	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億円限度
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度
国内示談交渉サービス付き						
病気入院 (1日あたり)		5,500円	5,200円	5,000円	—	—
傷	死亡・後遺障害	469万円	435万円	344万円	311万円	245万円
	入院 (1日あたり)	6,500円	6,000円	5,000円	4,500円	3,500円
害	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
	通院 (1日あたり)	3,500円	3,500円	2,600円	2,600円	1,500円
	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
細菌性食中毒	○	○	○	○	○	
携行品(学校管理下動産補償)	1年で20万円限度(自己負担額:1事故3,000円)		1年で10万円限度(自己負担額:1事故3,000円)			
被害事故補償	1事故3,000万円	1事故2,000万円	1事故1,000万円	1事故1,000万円		
育英費用	200万円	150万円	100万円	100万円	50万円	
地震・噴火・津波	○	—	—	—	—	—
保険料		16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円
制度維持費		350円				
掛金(1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度:W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について:新規加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和4年3月作成 <21-TC11345>

(引受幹事保険会社)



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

(共同引受保険会社)

AIG AIG損保

AIG損害保険株式会社 広島支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社